

事務事業名		図書館運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業			
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	14 生涯学習の推進				会計	款	項	目
	基本事業名	01 学習環境の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	10	05	04
根拠法令		図書館法、大船渡市図書館条例		所属		事務事業区分			
部課名	協働まちづくり部市立図書館		A 政策事業 B 施設整備						
課長名	熊谷 善男		C 施設管理 D 補助金等						
係名	総務係	電話	0192-26-1040			E 一般(A～D以外)			
担当者	菅野 聡	内線	450						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
大船渡市立図書館の運営や施設管理に関する事業。 主な業務は、 ①大船渡市立図書館協議会を開催し、委員(任期2年)から図書館運営等に対する意見をいただく。 ②図書館運営に係る専門的な知識等を習得するための職員の研修。 ③図書館だよりの発行や、市の広報、図書館のホームページにより図書館の情報を提供する。 ④施設・設備の管理等の委託、修繕等。 ⑤移動図書館車の維持管理。 ⑥岩手県立図書館をはじめとする他館との連携等。 事業費は、図書館協議会の運営費や職員の研修、施設・設備に係る光熱水費・燃料、修繕料、委託料等に支出される。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
大船渡市立図書館協議会開催(年4回)/各種図書館職員専門研修等受講/図書館情報の提供(図書館だよりの発行、HP更新、新聞社への情報提供等)/施設管理の委託等		ア	職員研修参加・会議出席回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	図書館情報提供回数
図書館協議会開催、システム更新を予定しているほか、指定管理者による図書館運営を行う。		ウ	施設管理等委託件数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		カ	人口
		キ	図書館利用登録者
		ク	図書館延べ床面積
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
図書館のサービス、催事等の周知を図るとともに、施設・設備を良好に管理することにより、多くの人に安全で快適に図書館を利用してもらう。		名称	
		単位	
		サ	図書館資料の貸出点数
		シ	図書館資料の貸出者数
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	各種サービスの利用回数
学習に必要な機能を備えた施設・設備を利用できる。生涯学習に関する情報が容易に入手できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	単位							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	62,856	18,431	81,392	64,998	64,998	64,998	
	事業費計(A)	千円	62,856	18,431	81,392	64,998	64,998	64,998	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	5	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	3,122	4,067					
	人件費計(B)	千円	12,488	16,268	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	75,344	34,699	81,392	64,998	64,998	64,998		
⑤活動指標	ア	回	10	8	10	10	10	10	
	イ	回	201	208	250	250	250	250	
	ウ	件	20	16	18	18	18	18	
⑥対象指標	カ	人	34,796	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	
	キ	人	17,770	17,730	17,880	18,030	18,180	18,330	
	ク	m <sup>2</sup>	1,415	1,415	1,415	1,415	1,415	1,415	
⑦成果指標	サ	点	121,301	132,031	133,351	134,684	136,031	137,392	
	シ	人	19,855	23,628	23,864	24,103	24,344	24,587	
	ス	回	3,103	3,059	3,089	3,120	3,151	3,183	

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
昭和27年の図書館設置及び管理に関する条例(後に大船渡市立図書館条例に改正)により図書館を設置。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
年々、利用者のニーズが多様化する中、地域を支える情報拠点としての社会的存在意義が高まり重要性が増した。平成20年度に、新施設(アスホール)に移転した。移転から10年が経過し、設備等の修繕が年々増加している。なお、移動図書館車は、取得後20年が経過し、運行に支障が生じるなど経年劣化が著しいことから、令和2年度において車両を更新し、小中学校等の巡回や来館が困難な方々へのより一層のサービスの提供に努めた。また、各種電子メディアの普及等、利用者を取り巻く情報環境が多様化しており、対応するサービスの提供が求められている。なお、ハード面においては、令和2年度に資料管理に関する新たな技術である図書のICタグ化を導入し、業務の効率化を進めた。特にも、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、利用者が安心して利用できるよう、当面の間、引き続き対策を講じていく必要がある。令和4年度から指定管理者制度を導入することとなり、図書館読書推進事業及び図書館資料収集保存事業を統合することとなった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
利用者より、各種資料の充実、幅広い情報の提供など、図書館サービスの向上や快適な利用環境の提供を要望されている。また、図書館協議会においては、指定管理者による運営を注視しつつ、利用者の声を聞きながら進めてほしいとの意見があった。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 図書館機能の充実・良好な管理は、市民が自ら学ぶための学習環境を提供する機関として、生涯学習の充実に直結するので、上位施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共財としての側面が強く、生涯学習、社会教育を提供する機関として高品位のサービスを保つ必要がある。民間による更なるサービス向上等が見込めることから、指定管理者制度の導入を行った。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 図書館のサービスは、住民全てを対象とすることから、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により、民間のノウハウ等により、サービスの向上が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 生涯学習環境が悪くなる。指定管理者(令和4年度から令和6年度まで)の指定取消しに伴う賠償が発生する可能性がある。直営に戻すためのスタッフの育成が必要になる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者費用の多くが人件費であり、削減によりサービスの低下を招く恐れがある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入を行う。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 図書館は公共財としての側面が強く、その利用条件は無料原則に基づき市民全てに公平であることから、受益の機会、費用の負担は適正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

<p>(1) 改革改善の方向性</p> <p>1 現状維持                  ② 改革改善(縮小・統合含む) →                  3 終了・廃止・休止</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上			●	維持			×	低下	×		×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上			●																	
維持			×																	
低下	×		×																	
<p>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>令和4年度より指定管理者制度を導入する。指定管理者による運営について、適切に行われているか注視する必要がある。図書館読書推進事業及び図書館資料収集保存事業を統合したため、本事業としてはコストが増加している。</p>																				

**4 課長等意見**

<p>(1) 今後の方向性</p> <p>1 現状維持                  ② 改革改善(縮小・統合含む)                  3 終了・廃止・休止</p>	<p>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</p> <p>令和4年度から指定管理者制度の導入することにより、民間の有している専門的知識や能力を活用し、図書館の市民サービスの向上と、より効率的かつ効果的な施設運営が見込まれる。</p>
--	---